

悟りと自由(マルコ 10:13-31)

人はみんなそれぞれ違いがあるので、比較することは仕方のないことかもしれません。クリスチャンである私たちが考えるべきなのは、人は、人間と神様の間に大きな壁があるゆえに人間的な条件の違いによる比較をするしかなく、比較意識から自由になることは難しいのです。今日の聖書箇所から、比較意識から自由になることについて見てみましょう。

1. 救いの祝福は全き神の恵みと悟った時、Only イエスとなり、人のうわべから自由になれる。

1) 最低のうわべと最高のうわべ

今日の聖書箇所で、子どもたちのことが出て来ます。子どもを無視するのは、人権のことではなく、当時の考えで、子どもは未熟で影響力はないので、うわべで言うと最低の存在だということです。そのあと、金持ちの青年が出て来ますが、お金持ちというのは、神様から祝福されていると思われていました。うわべで見ると、最高だということです。

2) 全き神の恵み

しかし、子どもだからではなく、子どものように親を頼らないと生きることができず、自分の力では生きることができないという人が、100%神様の恵みで救われるので、ただ神様の恵みで神の国に入るとことをイエス様は言われたのです。

3) 最低は機会、最高は妨げ

救われるのに値する良いものは人間にはなく、すべてが恵みなので、最低だと思う人はかえって機会となり、最高だと思う人はそのうわべによって邪魔されてしまい、他のことにこだわってしまいます。そうすれば、自

由ではなく奴隷になります。

4) 使徒 4:12

恵みだと悟るなら、only イエスとなり、こだわっていたこと、劣等感、優越感、比較意識から自由になります。真理が自由にするのです。

2. イエスの中にある完全な祝福を悟る時、世のものから自由になれる。

1) 捨てた者-Only イエス

Only イエスに従う者にいのちの祝福が与えられます。

2) いのちの祝福(ヨハネ 5:24、ガラテヤ 2:20、1コリント 3:16)

永遠のいのちを持ち、目には見えませんが、私の内にキリストが生きておられ、三位一体の神様の神殿となっています。罪人の私の罪が赦され、神様が内に入られて、神様と一体となるのが「いのち」です。この世を生きていますが、死と罪の原理から解放され、いのちの御霊の原理によって、右にころんでも、左にころんでも、すべて祝福である世界に入りました。滅びるしかない、悪魔が父である呪いの運命、地獄の民だったのが解放され、三位一体の神様がともにおられる者になりました。外なる人は滅んでも、内なるいのちは触ることはできません。天にあるすべての霊的祝福を受けたのです。神様ご自身を持つ、天の御座の祝福がすべて与えられる祝福の主人公です。ですから、心配、言い訳が要りません。すべて譲ることができる祝福の存在です。

3) 御座の力(イザヤ 40:31、ゼカリヤ 4:6、使徒 2:1-3)

御座の力を受けて、鷲のように翼をかけて

上ることができ、神様の霊の力が与えられます。その預言がマルコの屋上の間で五旬節に成就して、世界福音化のイエスの証人としての力が与えられました。世の祝福によって左右されない、力と聖霊と強い確信(1テサロニケ 1:5)が与えられ、みことばをあかしするとき、この力によって人が変わり救われます。

4) 征服者の道(マルコ 16:17-18、マタイ 5:14、エペソ 1:23)

征服者の祝福が回復して、征服者の道を歩むようになります。いのちの福音を語り、病人に手を置けば癒やされ、Nobody の征服者です。光を放つ人生で、暗闇が去り死の力が砕かれます。

神様との関係がふさがったゆえに、人の関係で左右され、悪霊の奴隷となったので、神様と霊的なことを意識して、神様の光が入るなら、人との壁も崩れます。イエス様の十字架によって、至聖所と聖所の隔ての幕が上から破れたように、たましいにキリスト・イエスの光が入り、壁が崩れ、見る目が変わり、すべてが変わります。キリストのからだなる教会で、キリストが流れ出るようになっていきます。王である祭司とイエスと同じ名前を受けます(1ペテロ 2:9)。

5) 加えて与えられる恵み(マタイ 6:33)

祝福を悟り、こだわりを未信者の救い、福音宣教に移しましょう。そうすれば、必ず征

服者の祝福と、これに加えて、恵みが与えられます。完全な祝福を悟れば、世のことを恐れたり、引っかかったり、問題になったりする必要がなく、自由になります。

3. この祝福を信仰により味わう人が用いられると悟る時、人間的な条件(言い訳)から自由になれる。

1) (31)

2) ユダヤ人-異邦人、先に信じた人-後に信じた人、有利-不利

3) 今の言い訳の材料が証拠へと変わる

イエス・キリストの中の祝福を味わい、超越しましょう。ヨセフやダビデは、神様の計画を感謝しました。創世記 3:15 のキリストが来られる契約を握って、W I Oを味わっていたのです。初代教会は、激しい迫害があり、人々も無能でしたが、それらがすべて証拠に変わりました。すべて超越するのです。Only イエス、御座の祝福、イエス様が一人一人に聖霊を注ぐと言われました。24 時、それにフォーカスを合わせましょう。霊的弱さ、霊的問題は言い訳になりません。

こだわりをチェンジしましょう！うわべから Only イエスに、世のものから霊的祝福に、条件から味わうことに！言い訳なく、最低のうわべを感謝して、霊的戦いをして、自由を思う存分味わいましょう。

1 部-マルコ 10:13-31 悟りと自由

なるほど/救い等の恵みと祝福、それを味わうことが何か悟った時、うわべや世のもの、言い訳から自由になり勝利出来る。

ならば/こだわりを肉のものから霊のものに変えよう！

2 部-使徒 1:7-8 備えられた福音宣教

なるほど/神様は、永遠のいのちに定められた魂を救う為のすべてを備えて、それに信者を用いられる。

ならば/神様の備えを軸にして、礼拝と祈り、生活を整理し、霊的状态を整えよう！